

## 1. 瀬戸内圏研究センターと庵治マリンステーションの組織体制

瀬戸内圏研究センターは、香川大学研究推進機構の一組織として、平成21年3月1日に設立された。また、同年4月1日には農学部附属浅海域環境実験実習施設を庵治マリンステーション（Aji Marine Station）として改組し、同センター内に設置した。本研究センターの組織体制を以下に示す。

また、瀬戸内圏に関する情報のデータベース化を図るために香川大学瀬戸内圏研究センター情報拠点機能強化推進事業（香川県ふるさと雇用再生特別基金事業）によるデータ・マネジメント・ステーションが平成21年7月21日から始動した。

理事・副学長（研究・評価担当） 早川 茂（平成27年9月まで）  
寛 善行（平成27年9月から）

### 瀬戸内圏研究センター

ゼネラルマネージャー 本城凡夫  
（特任教授）  
センター長 多田邦尚  
特任教授 原 量宏  
准教授 一見和彦  
コーディネーター 上野哲夫

### 庵治マリンステーション

ステーション長 多田邦尚（農学部併任）  
技術専門職員（船長） 岸本浩二

### データ・マネジメント・ステーション

技術補佐員 青木昌子（平成26年9月まで）  
技術補佐員 築田裕子（平成26年9月から）

## 庵治マリンステーション の紹介

本施設は四国最北端である庵治半島の先端に位置します。周辺には砂浜や岩場などが多く見られ、自然環境に恵まれています。調査船「カラヌスⅢ」（19 t）及び小型作業船「ノープリウスⅡ」（1.1 t）が配備され、香川大学の海に関する教育研究の前線基地となっています。調査船で海洋観測を行い、施設で分析・観察を行っています。研究用機器として、各種海洋観測機器および全窒素・リンなどの栄養塩自動分析装置が備えられ、海の富栄養化、貧酸素水塊、養殖漁場環境、あるいは干潟域の環境等の研究を行っています。また、農学部の海洋環境実習、全学共通科目の授業にも活用されています。

瀬戸内圏研究センターへの改組に伴って、平成22年3月までに、マリンステーションの施設をリニューアルしました。

（庵治マリンステーションの位置地図）



庵治マリステーション全景



調査艇「カラヌスⅢ」

